

ASAKURA BankART Theater

会場 = 3C Gallery / BankART Studio NYK 3F 時間 = 19:30 - 21:30 料金 = 2,000円 (朝倉摂展チケット半券お持ちの方は500円引) 定員 120 ~ 150名

□ パフォーマンス プログラム

- 9月20日(月・祝) 文殊の知恵熱、村田峰紀
- 10月5日(火) ARICA+ 首くくり柵象、大野慶人
- 10月19日(火) 友部正人「ひとりno media 映像編」
- 10月29日(金) off-Nibroll(矢内原美邦+高橋啓祐)、中村恩恵+廣田あつ子
- 10月30日(土) 梅若猶彦、オムトン



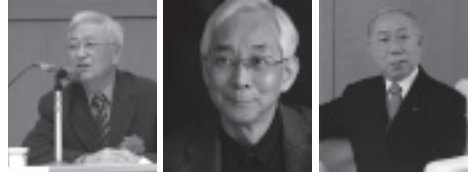
ARICA+ 首くくり柵象



上段左から：文殊の知恵熱、村田峰紀、友部正人、大野慶人 / 下段左から：中村恩恵+廣田あつ子、off-Nibroll、梅若猶彦、オムトン

□ トーク プログラム

- 10月11日(月・祝) 篠田正浩+扇田昭彦+朝倉 摂
- 10月26日(火) 福原義春+朝倉 摂



左から：篠田正浩、扇田昭彦、福原義春



朝倉 摂

文殊の知恵熱 Monjunochienetsu

音楽家とうじ魔とうじ、美術家松本秋則、舞踏家村田青朔の3人によるパフォーマンスユニット。一見、とうじ魔が音楽担当、松本が美術担当、そして村田が踊るののだと思われがちだが、そうではない。ジャンルを浸食しあい、超越する舞台作りには挑戦し、公演活動を続けている。1989年旗揚げ。1992年、代表作「マカロニ空洞説」。1997年「竹輪式」など、2002年には、日印外交関係樹立50周年記念事業「JAPAN WEEK」でインド公演を行う。2008年「BankART Café Live」に出演。BankART 出版よりDVD 文殊の知恵熱アーカイブス「奇跡の軌跡」を発刊。

村田峰紀 Murata Mineki

1979年群馬県生まれ。多摩美術大学彫刻学科卒業。主な展覧会に「MURATA MINEKI EXHIBITION」(2003年/ART LABORATORY R3)、「奇想の庭(レセプションにてパフォーマンス)」(2006年/山本現代)、「意識を超える」(2006年/BankART Studio NYK)、「ART@AGNES アート@アグネス」(2006年/山本現代の部屋のベランダ、神楽坂アグネスホテル)、「No comment」(2007/stock/ドット・ドレスデン)、「() 4=bare」(08年/台北国際芸術村/台湾・台北) 2007年度台北市・横浜市アーティスト交流プログラムとして参加。愛知トリエンナーレ2010に出品。

ARICA アリカ

パフォーマンスの安藤朋子、演出の藤田康城、詩人・批評の倉石信乃、音楽家嶺山修、テキスタイルコーディネーター・デザイナーの安東陽子、デザイナーの須山悠里、美術家の高橋永二郎、プロデューサーの前田圭蔵らを中心としたシアター・カンパニー。体とテキスト、音、装置の関係を探りながらとらえ直す演劇実験を継続。BankARTでもたびたび公演をしている。2005年カイロ国際実験演劇祭で最優秀ソロパフォーマンス賞受賞、2008年ニューヨーク公演、2010年インド・ニューデリー公演。越後妻有大地の芸術祭での「BankART Butterfly Dream」にも出演している。

首くくり柵象 Kubikukuri Takuzu

1947年群馬県生まれ。60年代の終焉時、旧都美術館の大階段で身体行為「極限のアクション」と称しを行う。アクションの一連で首吊りを表現にする。2004年大野一雄フェスティバルにて稀代のコンテンツラーダンサー黒沢美香の「ロマンチックナイト」(元BankART1929馬車道)で首つりを以て共演。2006年演劇のARICAのプロデュースで「黒魚けサンキュー」(神楽坂die pratzle)を単独で、2009年「BankART Butterfly Dream」でARICAの安藤朋子と首つりを以て共演。余越保子(ニューヨーク在住の振付け家)の初メガホン映画「ハンガマン・タクゾウ」に主演。

大野慶人 Ohno Yoshito

1938年、東京生まれ。1959年、土方巽の「禁色」で少年役を演ずる。以後、アルト一館、暗黒舞踏派公演に参加。1985年「死海」で大野一雄と共演。1986年以降は大野一雄の全作品を演出。1998年、郡司正勝氏の遺稿を基に自身のソロ作品「ドリアン・グレイの最後の肖像」を上演。現在、国内外で公演活動を続ける。大野一雄舞踏研究所所長。著書に「大野一雄魂の羅」(フィルムアート社)。

off-Nibroll オフニブロール

1997年設立のパフォーマンスカンパニー「ニブロール」の全作品の振付を手がける矢内原美邦と映像ディレクターの高橋啓祐によるユニット。イタリアでの個展をはじめ、国内外でインスタレーションやパフォーマンス作品を発表。矢内原美邦/ニブロール主宰、全作品を振付。2009年日本ダンスフォーラム大賞受賞。2004年BankART1929 オープニングプログラムに参加。高橋啓祐/ニブロール映像ディレクター。個人でも映像作家としてビデオアート作品を多数制作。2005年第9回文化庁メディア芸術祭審査委員会推薦優秀作品受賞。

中村恩恵 Nakamura Megumi

舞踏家。横浜生まれ。1991年から、ネザールダンスシアターで主要ダンサーとして踊った後、フリーの舞踏家として活動。また、キリアンのコーチとしてバリオペラ座をはじめ、世界中のバレカンパニーなどで作品を指導している。2007年横浜にDance Sangaを設立。(現在、BankART Studio NYK内 Studio202で活動) Noism07の委嘱で「Walz」を発表。2008年舞踊批評家協会新人賞受賞。

廣田あつ子 Hirota Atsuko

幼少よりクラシックバレエとピアノを学ぶ。学習院大学フランス文学科卒。2年間のダンス留学を経て、帰国後も国内外数多くの振付家作品に出演。ダンスカンパニーとの創作活動、ヨーロッパ公演ツアーに参加。自身のプロデュース公演を立ち上げる他、音楽家との共演など活躍の場を広げ柔軟な精神で独自の世界を深めている。2008年 BankART Cafe Liveにおいて、中村恩恵とのデュオ「夢みる権利」を上演。2009年彩の国劇場、2010年マルセイユダンスフェスティバルに招聘される。

友部正人 Tomobe Masato

1950年生まれ。72年「大阪へやってきた」でアルバムデビュー。最新作「クレーン」まで23枚のオリジナルアルバムを発表。「退屈は素敵」など詩集を8冊、「ジュークボックスに住む詩人2」などエッセイ集も8冊刊行。また、詩の朗読プロジェクト「no media」も2000年からスタートし、詩の朗読CDのプロデュースやライブも行っている。BankARTでは「友部正人文化祭」「LIVE no media 2006」「大岡川川くだりライブ」などを開催。現在ニューヨークと横浜を行ったり来たりの暮らし。

梅若猶彦 Umewaka Naohiko

能楽師シテ方。1958年大阪府箕面市生まれ。多くの能楽で自ら演じる傍ら、劇作家/演出家としても活動。最近では、「2010年日本・トルコ友好120周年芸術祭」のプレオープンニングや、アンカラ国立オペラ座オペレッタ劇場、イスタンブール国立劇場での、現代能劇「レストラン・世界最高の演劇」の作/演出等を担当。現在、静岡文化芸術大学教授。またロンドン大学客員教授を経て、フィリピン大学デイリマン校客員教授。07年「Joumees Theatres De Carthage.edition 13」受賞。08年文化庁文化交流使。主な著書に「能楽への招待」(岩波書店)など。

オムトン omu-tone

澤口希/Chang-Nong、佐藤貴子/TKO、高橋若菜/wakame-erの3人からなる打楽器ユニット。2003年の結成以来、マリンバの特徴的な音色を中心に、ジャンベやドラム、コンガ、ピアノなどの様々な打楽器を使い、軽やかに心地よい音作りを目指して活動が続いている。「BankART Life」で「YOKOHAMA Omu-ning」を、「BankARTLifeII」では「omu-life」を作曲、BankART 出版よりCDを発売中。2010年10月、2年半ぶり4枚目のアルバム「Odorudake」をリリース!

篠田正浩 Shinoda Masahiro

映画監督。株式会社表現社代表取締役、早稲田大学特命教授、日本中国文化交流協会代表理事。早稲田大学文学部卒業後、松竹撮影所に助監督として入社。1960年「恋の片道切符」で監督に。大島渚、吉田喜重らと共に、松竹スーパー・ヴァーグとして前衛的名作品を発表。66年松竹を退社してフリーとなり、67年独立プロ「表現社」を設立。多くの映画作品を生み出し、高い評価を得ている。主な著書に「河原者ノススメ-死穢と修羅の記憶」(幻蔵書房)などがある。

扇田昭彦 Senda Akihiko

演劇評論家、元朝日新聞記者。東京生まれ。東京大学文学部西洋史学科卒。1964年に朝日新聞に入社。1968年より芸芸部に配属され、長く演劇記者として活動。1989年「現代演劇の航海」で芸術選奨新人賞受賞。1997年以降、NHK「80年代演劇大全集」「20世紀演劇カーテンコール」「新世紀演劇パレード」で長く司会を務める。2003~2006年まで国際演劇評論家協会(AICT)日本センター会長。

福原義春 Fukuhara Yoshiharu

株式会社資生堂名誉会長。1953年慶應義塾大学経済学部卒業後、資生堂入社。1987年社長、1997年会長を歴任し、2001年より現職。東京都写真美術館館長、文部科学省参事、企業メセナ協議会会長(前理事長)、日経経済人クラブ日本側議長、かながわ国際交流財団理事長など公職多数。また、文字・活字文化推進機構会長として2010年国民読書年を率いる。主な著書に「ぼくの複雑人生」(岩波書店)、「猫と小石とディアギレフ」(集英社)、「だから人は本を読む」(東洋経済新報社)、「福原義春の言葉-私は変わった変わるように努力したのだ」(求龍堂)など。

予約・お問い合わせ / BankART1929

〒231-0002 横浜市中区海岸通3-9
TEL : 045-663-2812 FAX : 045-663-2813
asakura@bankart1929.com
http://www.bankart1929.com

アクセス

横浜みなとみらい線「馬車道駅」
6出口「赤れんが倉庫口」徒歩5分

